

# いばらきネットモニター 後発医薬品(ジェネリック医薬品)やバイオシミラーについてのアンケート結果

## 1 調査目的

このアンケートは、県民の皆様が抱えている後発医薬品（ジェネリック医薬品）やバイオシミラーの印象等についての意識調査を行い、後発医薬品等の使用促進にあたっての課題を把握するために実施しました。

## 2 結果の概要

- ・後発医薬品を認知している割合、また使用したことがある割合はどちらも9割を上回った。
- ・後発医薬品を希望しない（先発医薬品を希望する）割合は13.1%であり、希望しない理由は、後発医薬品の品質への不安が過半数を占めた。
- ・後発医薬品を希望する理由の大部分が、薬代が安くなるためであった。
- ・「10～30代」は、「40代以上」よりも公共交通機関やインターネットを活用した啓発が効果的であると考えているのに対し、「40代以上」では「県広報誌」や「新聞広告」が効果的であると考えており、世代によって効果的な啓発活動に差がみられた。
- ・バイオシミラーを認知していない割合は約9割であり、バイオ医薬品を使用している県民に限っても、約4割で認知されていなかった。

### 後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

新薬（いわゆる先発医薬品）の特許が切れた後に、同じ有効成分を使用して製造した薬のことで、国が効果や安全性を審査し承認したものです。先発医薬品に比べて薬代が安くなるほか、味や大きさなど、服用しやすいように工夫された製品もあります。

### バイオ医薬品・バイオシミラーとは

バイオ医薬品とは、遺伝子組換え技術や細胞培養技術を用いて製造されたタンパク質を有効成分とする医薬品です。具体的には、糖尿病治療に使用するインスリン製剤や、がん治療に使用する抗体医薬品等があります。

バイオシミラーは特許が切れた先行バイオ医薬品と、同じように使うことができ、値段も安い医薬品です。バイオ医薬品のタンパク質は非常に複雑な構造をしており、全ての構造が同一のものを製造することは困難であるため、バイオシミラーと後発医薬品（ジェネリック医薬品）とでは、有効成分が必ずしも同じ構造ではない点で異なります。ただし、非常に多くの試験を行って、有効性や安全性が同等であることを確認しています。

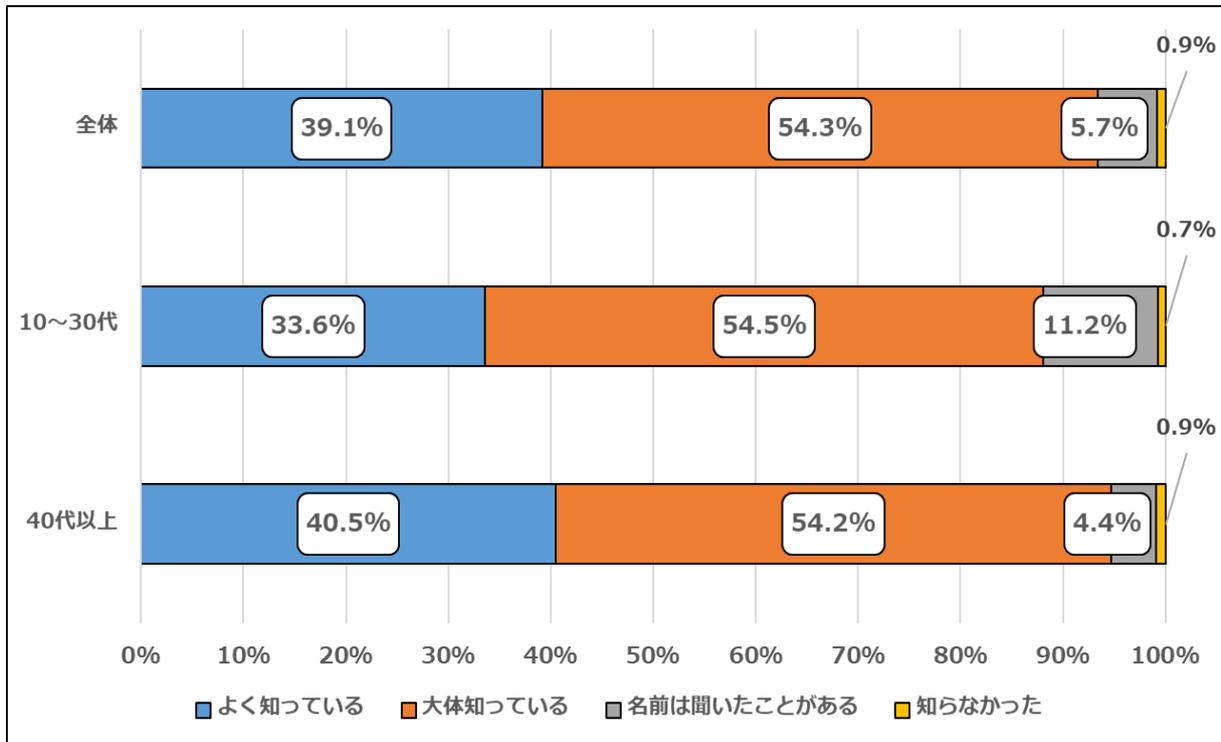
詳しくは、こちらをご覧ください（茨城県HP）。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yakumu/yakuji/generic.html>

【問1】（後発医薬品の認知）

あなたは、後発医薬品（ジェネリック医薬品）のことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=700)



	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
よく知っている	274	45	229	39.1	33.6	40.5
大体知っている	380	73	307	54.3	54.5	54.2
名前は聞いたことがある	40	15	25	5.7	11.2	4.4
知らなかった	6	1	5	0.9	0.7	0.9
全体	700	134	566	-	-	-

○全体として「大体知っている」が54.3%で最も多く、次に「よく知っている」が39.1%、「名前は聞いたことがある」が5.7%となった。一方、「知らなかった」は0.9%であり、昨年度の調査結果と比較して約0.7ポイント上昇した。

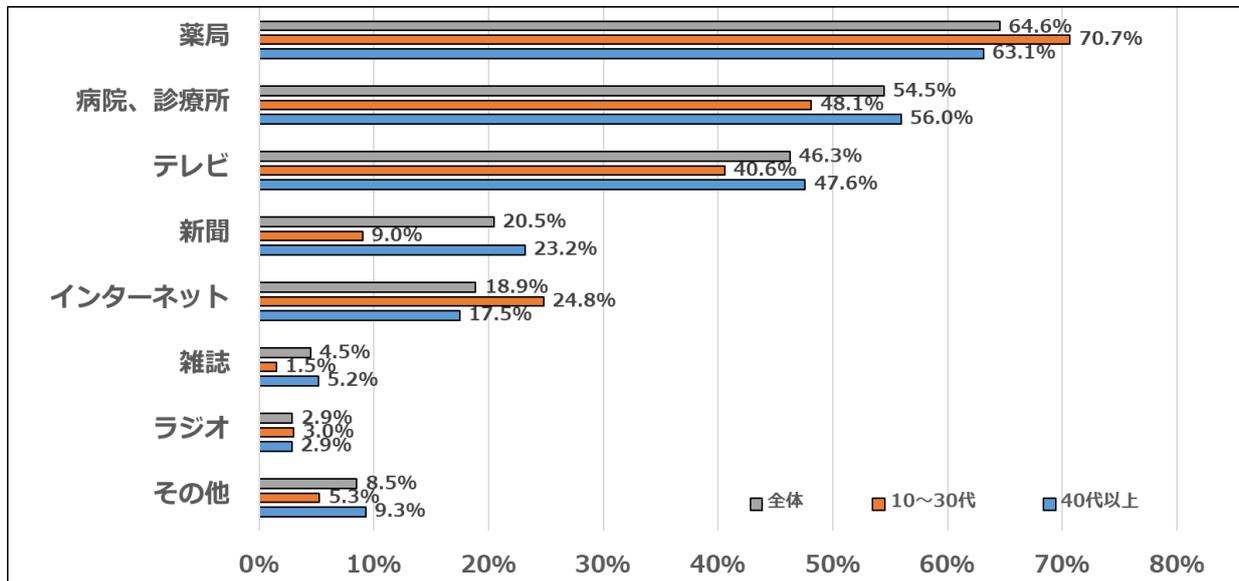
○年代別における状況については、「40代以上」が「10~30代」より「よく知っている」の割合が約6.9ポイント高かった。

【問2】（後発医薬品を知ったきっかけ）

（問1で「よく知っている」、「大体知っている」、「名前は聞いたことがある」を選択した方へ）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を知った又は聞いたきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=694)



	回答数（件）			割合（%）		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
薬局	448	94	354	64.6	70.7	63.1
病院、診療所	378	64	314	54.5	48.1	56.0
テレビ	321	54	267	46.3	40.6	47.6
新聞	142	12	130	20.5	9.0	23.2
インターネット	131	33	98	18.9	24.8	17.5
雑誌	31	2	29	4.5	1.5	5.2
ラジオ	20	4	16	2.9	3.0	2.9
その他	59	7	52	8.5	5.3	9.3
全体	1530	270	1260	-	-	-

○全体として、「薬局」が64.6%で最も多く、「病院・診療所」が54.5%、「テレビ」が46.3%と高い割合を示した。以降、「新聞」20.5%、「インターネット」18.9%、「雑誌」4.5%、「ラジオ」2.9%の順となった。昨年度の調査結果と比較して大きな変化は見られなかった。

○年代別における状況については、「新聞」が「10~30代」で9.0%と、「40代以上」に比べて約14ポイント低い一方で「インターネット」は「10~30代」で約7.3ポイント高く、年齢層によって認知のきっかけが異なる傾向がみられた。

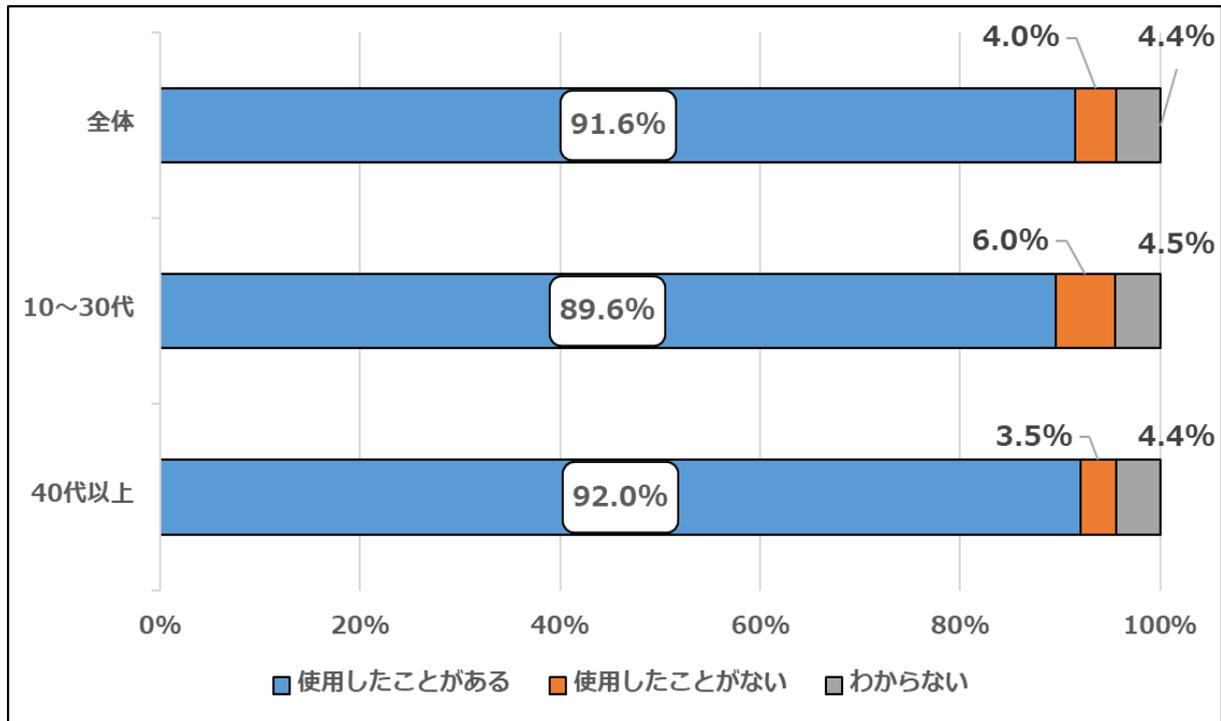
○「その他」（8.5%）として、次のような意見が挙げられた（計59件）。

- ・ 保険者（健康保険組合等）の案内で知った
- ・ 仕事上知っている
- ・ 学校で学んだ

【問3】（後発医薬品の使用経験）

あなたは、今までに後発医薬品（ジェネリック医薬品）を使用したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=700)



	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
使用したことがある	641	120	521	91.6	89.6	92.0
使用したことがない	28	8	20	4.0	6.0	3.5
わからない	31	6	25	4.4	4.5	4.4
全体	700	134	566	-	-	-

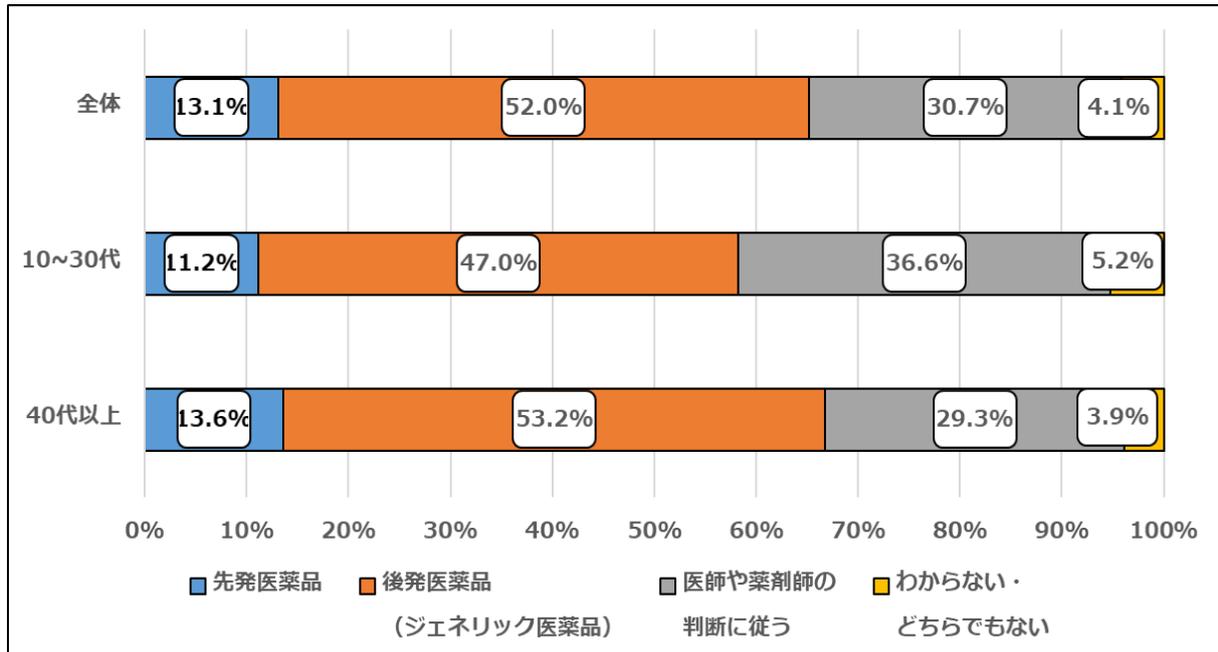
○全体として、「使用したことがある」が91.6%で最も多かった一方で、「使用したことがない」が4.0%、「わからない」が4.4%であった。昨年度の調査では、「使用したことがある」は90.4%であり、微増となった。

○年代別における状況については、「10~30代」と「40代以上」で、大きな差異は見られなかった。

【問4】（先発医薬品・後発医薬品の希望）

あなたは、先発医薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）のどちらを希望しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=700)



	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
先発医薬品	92	15	77	13.1	11.2	13.6
後発医薬品 (ジェネリック医薬品)	364	63	301	52.0	47.0	53.2
医師や薬剤師の 判断に従う	215	49	166	30.7	36.6	29.3
わからない・ どちらでもない	29	7	22	4.1	5.2	3.9
全体	700	134	566	-	-	-

○全体として、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」が 52.0%と最も多く、次に「医師や薬剤師の判断に従う」が 30.7%と多かった。「先発医薬品」を希望した割合については 13.1%、「わからない・どちらでもない」との回答は 4.1%であった。昨年度の調査結果と比較して大きな変化は見られなかった。

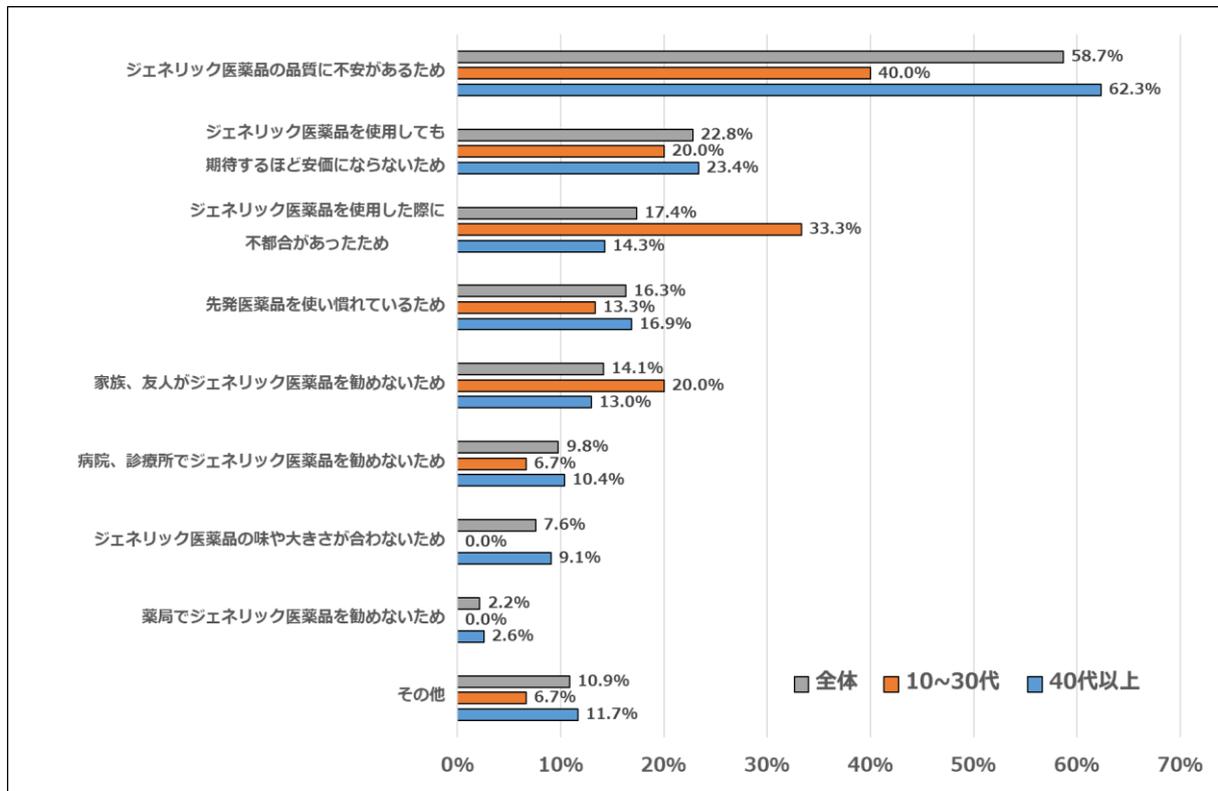
○年代別における状況については、「10~30代」と「40代以上」で大きな差異はなかったが、「10~30代」は、「医師や薬剤師の判断に従う」の割合が「40代以上」に比べて約 7.3 ポイント高かった。

【問5】（先発医薬品の希望理由）

（問4で「先発医薬品」を選択した方へ）

あなたが、先発医薬品を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=92)



	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10 ~ 30 代	40 代 以上	全体	10 ~ 30 代	40 代 以上
ジェネリック医薬品の品質に不安があるため	54	6	48	58.7	40.0	62.3
ジェネリック医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため	21	3	18	22.8	20.0	23.4
ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため	16	5	11	17.4	33.3	14.3
先発医薬品を使い慣れているため	15	2	13	16.3	13.3	16.9
家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため	13	3	10	14.1	20.0	13.0
病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため	9	1	8	9.8	6.7	10.4
ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため	7	0	7	7.6	0.0	9.1
薬局でジェネリック医薬品を勧めないため	2	0	2	2.2	0.0	2.6
その他	10	1	9	10.9	6.7	11.7
全体	147	21	126	-	-	-

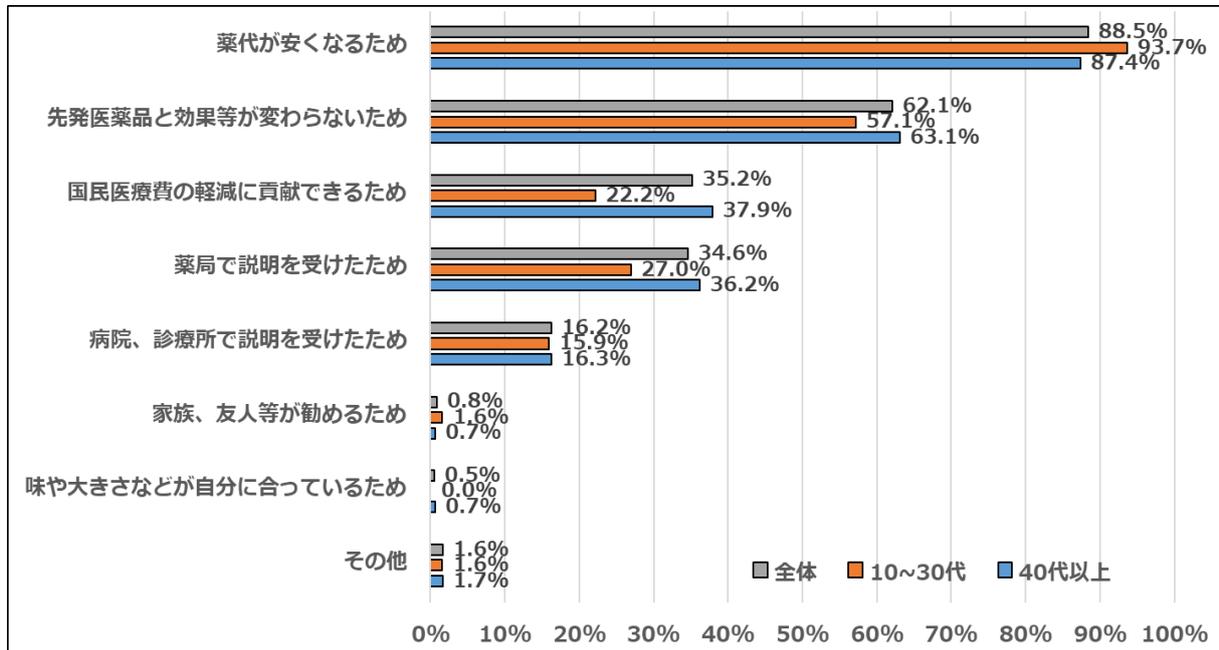
- 全体として、「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が 58.7%と最も多く、「ジェネリック医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため」が 22.8%と次に多かった。以降、「ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため」が 17.4%、「先発医薬品を使い慣れているため」が 16.3%、「家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため」が 14.1%、「病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため」が 9.8%、「ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため」が 7.6%、「薬局でジェネリック医薬品を勧めないため」が 2.2%と続いた。
- 昨年度の調査結果と比較して、「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が約 13.2 ポイント減少したものの、令和 2 年に複数の国内後発医薬品メーカーによる不正が発覚して以降、品質への不安は依然として高い割合を示している。
- 年代別における状況については、「10～30 代」が「40 代以上」に比べて、「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が約 22.3 ポイント低く、「ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため」が約 19.0 ポイント高かった。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（計 10 件）。
  - ・先発医薬品メーカーへの配慮
  - ・使用している添加物への不安
  - ・医師によって考え方が異なる
  - ・信頼がおけない

【問6】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の希望理由）

（問4で「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を選択した方へ）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=364)



	回答数（件）			割合（％）		
	全体	10～30代	40代以上	全体	10～30代	40代以上
薬代が安くなるため	322	59	263	88.5	93.7	87.4
先発医薬品と効果等が変わらないため	226	36	190	62.1	57.1	63.1
国民医療費の軽減に貢献できるため	128	14	114	35.2	22.2	37.9
薬局で説明を受けたため	126	17	109	34.6	27.0	36.2
病院、診療所で説明を受けたため	59	10	49	16.2	15.9	16.3
家族、友人等が勧めるため	3	1	2	0.8	1.6	0.7
味や大きさなどが自分に合っているため	2	0	2	0.5	0	0.7
その他	6	1	5	1.6	1.6	1.7
全体	872	138	734	-	-	-

○全体として、「薬代が安くなるため」が88.5%と最も多く、「先発医薬品と効果等が変わらないため」が62.1%と次に多かった。以降、「国民医療費の軽減に貢献できるため」が35.2%、「薬局で説明を受けたため」が34.6%、「病院、診療所で説明を受けたため」が16.2%、「家族、友人等が勧めるため」が0.8%、「味や大きさなどが自分に合っているため」が0.5%となった。昨年度の調査結果と比較して大きな変化は見られなかった。

○年代別における状況については、「10～30代」が「40代以上」に比べて、「国民医療費の軽減に貢献できるため」が約15.7ポイント、「薬局で説明を受けたため」が約9.2ポイント低かった。「10～30代」は、「40代以上」に比べ、後発医薬品の使用が国民医療費の削減に貢献していると感じている方が少ないと考えられた。

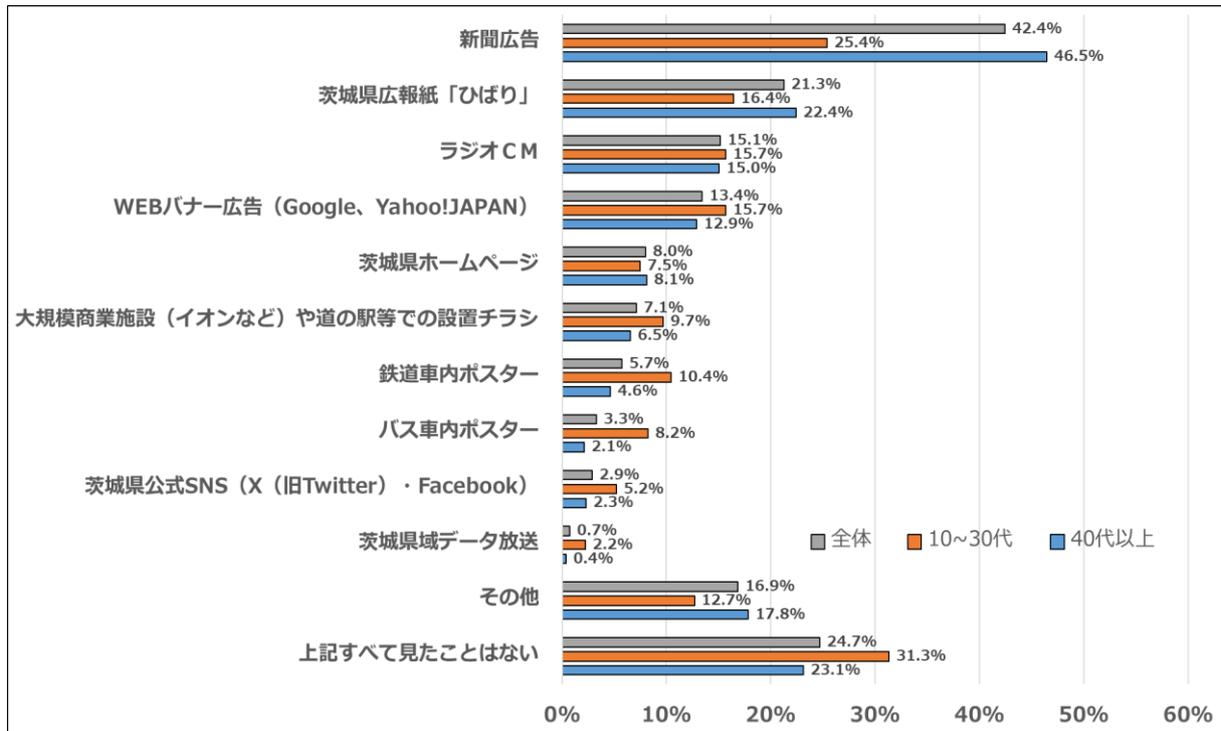
○「その他」として、次のような意見が挙げられた（計6件）。

- ・保険者（健康保険組合等）の推薦
- ・長い使用実績がある

【問7】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報）

次の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報のうち、あなたが見たことがあるものは何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=700)



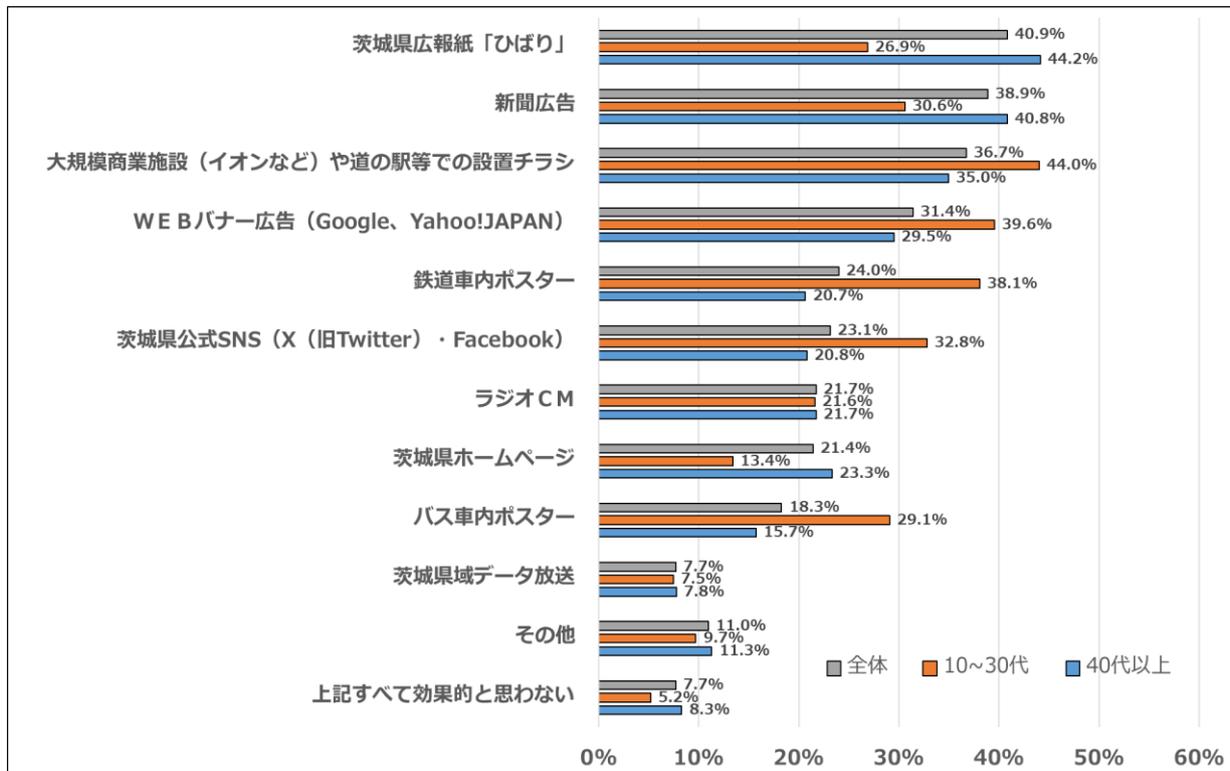
	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
新聞広告	297	34	263	42.4	25.4	46.5
茨城県広報紙「ひばり」	149	22	127	21.3	16.4	22.4
ラジオCM	106	21	85	15.1	15.7	15.0
WEBバナー広告 (Google、Yahoo!JAPAN)	94	21	73	13.4	15.7	12.9
茨城県ホームページ	56	10	46	8.0	7.5	8.1
大規模商業施設 (イオンなど) や 道の駅等での設置チラシ	50	13	37	7.1	9.7	6.5
鉄道車内ポスター	40	14	26	5.7	10.4	4.6
バス車内ポスター	23	11	12	3.3	8.2	2.1
茨城県公式SNS (X (旧 Twitter) ・ Facebook)	20	7	13	2.9	5.2	2.3
茨城県域データ放送	5	3	2	0.7	2.2	0.4
その他	118	17	101	16.9	12.7	17.8
上記すべて見たことはない	173	42	131	24.7	31.3	23.1
全体	1131	215	916	-	-	-

- 「新聞広告」が42.4%で最も多く、「すべて見たことはない」が24.7%で次に多かった。以降、「茨城県広報紙「ひばり」」21.3%、「ラジオCM」15.1%、「WEBバナー広告（Google、Yahoo!JAPAN）」13.4%、「茨城県ホームページ」8.0%、「大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ」7.1%、「鉄道車内ポスター」5.7%、「バス車内ポスター」3.3%、「茨城県公式SNS（X（旧Twitter）・Facebook）」2.9%、「茨城県域データ放送」0.7%の順となった。
- 昨年度の調査結果と比較して、大きな変化は見られなかったが、「すべて見たことはない」の割合は約4.8ポイント減少した。
- 年代別における状況については、「10～30代」が「40代以上」に比べて、「新聞広告」が約21.1ポイント、「茨城県広報紙「ひばり」」が約6.0ポイント、「その他」が約5.1ポイント低く、「すべて見たことはない」の割合が約8.2ポイント高かった。「10～30代」で「その他」として挙げられていたのは、「薬局・病院内（ポスター等）」（10件）、「テレビCM」（5件）、「ジェネリック医薬品希望シール」「SNS」「映画館」（各1件）であった。昨年度の調査結果と比較して、「10～30代」における「すべて見たことはない」の割合は約14.7ポイント減少した。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（118件）。
  - ・薬局内・病院内（ポスター等）
  - ・テレビCM
  - ・保険者（健康保険組合等）の広報
  - ・市町村の広報

【問 8】（後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報 2）

現在、茨城県で実施している次の広報手法のうち、あなたが、効果的だと思うものは何ですか。次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=700)



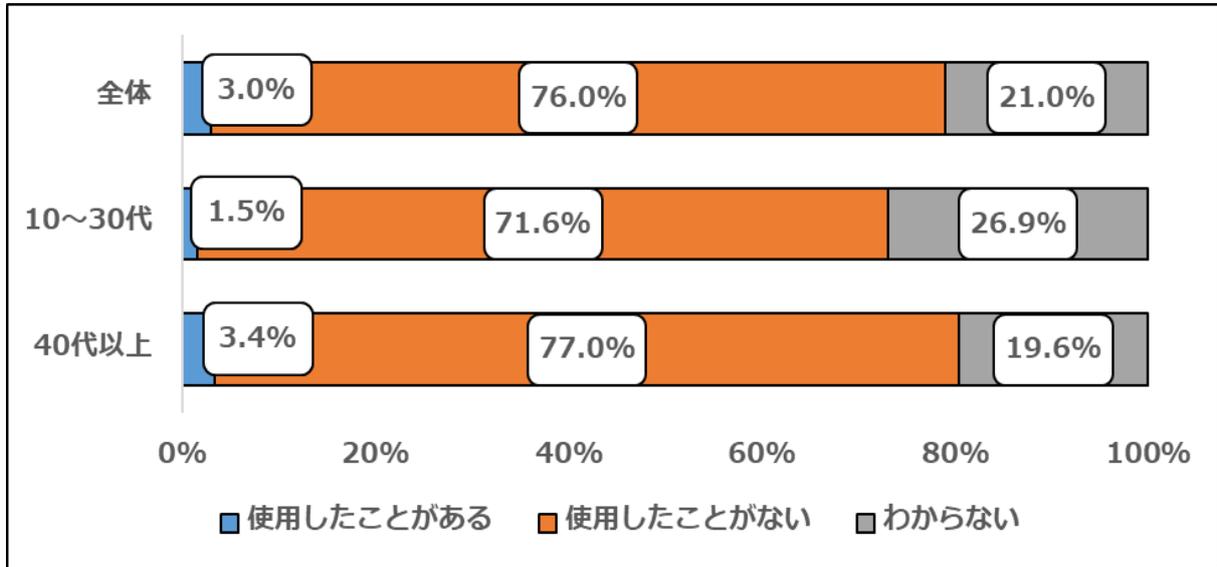
	回答数（件）			割合（％）		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
茨城県広報紙「ひばり」	286	36	250	40.9	26.9	44.2
新聞広告	272	41	231	38.9	30.6	40.8
大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ	257	59	198	36.7	44.0	35.0
WEBバナー広告（Google、Yahoo!JAPAN）	220	53	167	31.4	39.6	29.5
鉄道車内ポスター	168	51	117	24.0	38.1	20.7
茨城県公式SNS（X（旧Twitter）・Facebook）	162	44	118	23.1	32.8	20.8
ラジオCM	152	29	123	21.7	21.6	21.7
茨城県ホームページ	150	18	132	21.4	13.4	23.3
バス車内ポスター	128	39	89	18.3	29.1	15.7
茨城県域データ放送	54	10	44	7.7	7.5	7.8
その他	77	13	64	11.0	9.7	11.3
上記すべて効果的と思わない	54	7	47	7.7	5.2	8.3
全体	1980	400	1580	-	-	-

- 全体として、「茨城県広報紙「ひばり」」が 40.9%と最も多く、次に「新聞広告」が 38.9%と多かった。以降、「大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ」36.7%、「WEB バナー広告（Google、Yahoo!JAPAN）」31.4%、「鉄道車内ポスター」24.0%、「茨城県公式 SNS（X（旧 Twitter）・Facebook）」23.1%、「ラジオCM」21.7%、「茨城県ホームページ」21.4%、「バス車内ポスター」が 18.3%、「茨城県域データ放送」7.7%であった。また、「効果的だと感じたものはない」が 7.7%であり、昨年度の調査結果と比較して大きな変化は見られなかった。
- 年代別における状況については、「10～30 代」が「40 代以上」に比べて、「茨城県広報紙「ひばり」」が約 17.3 ポイント、「新聞広告」が約 10.2 ポイント低く、「鉄道車内ポスター」が約 17.4 ポイント、「バス車内ポスター」が約 13.4 ポイント、「茨城県公式 SNS（X（旧 Twitter）・Facebook）」が約 12.0 ポイント、「WEB バナー広告（Google、Yahoo!JAPAN）」が約 10.1% ポイント高かった。「10～30 代」は、公共交通機関やインターネットを活用した啓発が有効と感じていることが分かった。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた（77 件）。
- ・病院等、薬局内（ポスター等）
  - ・テレビCM
  - ・医療関係者からの助言
  - ・市町村における広告（広報誌、回覧板）

【問9】（バイオ医薬品の使用経験）

あなたは、今までにバイオ医薬品を使用したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=700)



	回答数 (件)			割合 (%)		
	全体	10~30代	40代以上	全体	10~30代	40代以上
使用したことがある	21	2	19	3.0	1.5	3.4
使用したことがない	532	96	436	76.0	71.6	77.0
わからない	147	36	111	21.0	26.9	19.6
全体	700	134	566	-	-	-

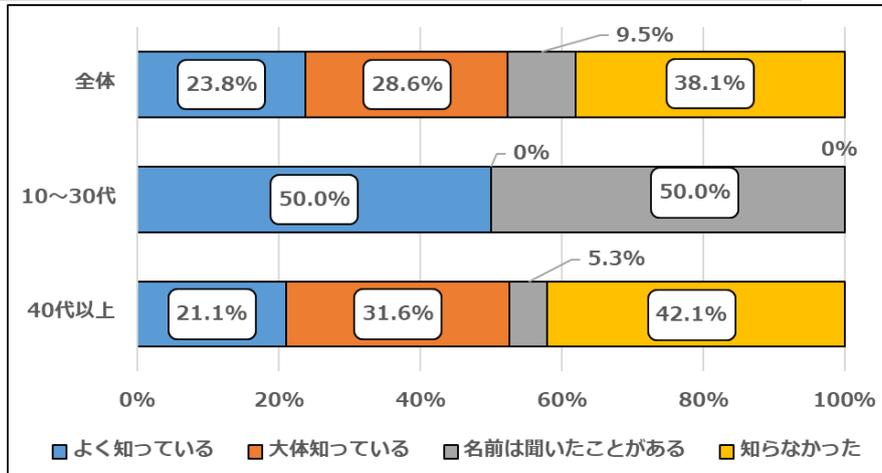
○全体として、「使用したことがない」が 76.0%で最も多く、「わからない」が 21.0%と続き、バイオ医薬品という言葉自体が一般に浸透していないことが想定された。

○年代別における状況については、「10~30代」と「40代以上」で、大きな差異は見られなかった。

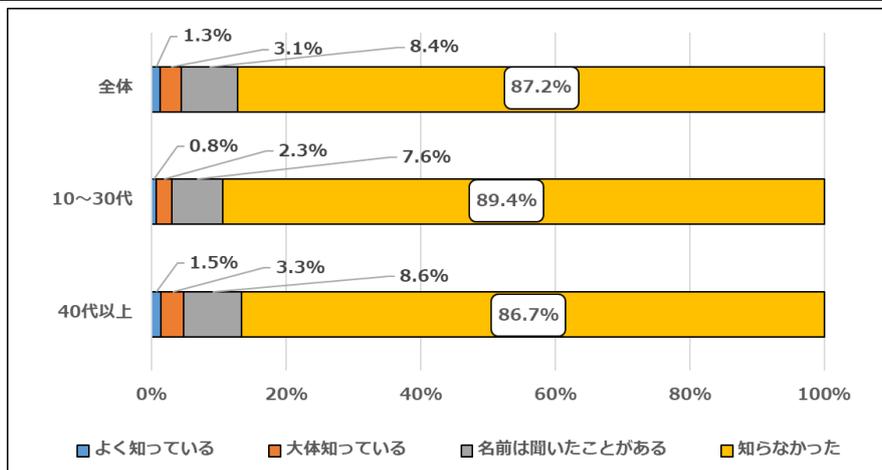
【問10】（バイオシミラーの認知度）

あなたは、バイオシミラーのことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。 (n=700)

① <問9でバイオ医薬品を使用したことがあると回答した方における結果>



② <問9でバイオ医薬品を使用していない/わからないと回答した方における結果>



①：問9でバイオ医薬品を使用したことがあると回答した方 ②：①以外	回答数 (件)						割合 (%)					
	全体		10~30代		40代以上		全体		10~30代		40代以上	
	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	①・②	
よく知っている	5	9	1	1	4	8	23.8	1.3	50.0	0.8	21.1	1.5
大体知っている	6	21	0	3	6	18	28.6	3.1	0.0	2.3	31.6	3.3
名前は聞いたことがある	2	57	1	10	1	47	9.5	8.4	50.0	7.6	5.3	8.6
知らなかった	8	592	0	118	8	474	38.1	87.2	0.0	89.4	42.1	86.7
全体	21	679	2	132	19	547	-	-	-	-	-	-

○バイオシミラーを「知らなかった」の割合は、問9でバイオ医薬品を使用していない又はわからないと回答した方において87.2%であり、県民にあまり認知されていないことがわかった。また、バイオ医薬品を使用している方においても、約4割の方がバイオシミラーを認知しておらず、バイオシミラーが存在しないバイオ医薬品を使用している可能性もあるものの、患者が自己の診療に関連する有益な情報を拾えるよう、積極的に広報を行っていく必要があると考えられた。年代別における状況については、「10~30代」と「40代以上」で、大きな差異は見られなかった。

## 【問 11】（自由意見）

その他、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」および「バイオシミラー」について、自由にご意見をお聞かせください（200 文字以内）。

### 品質、供給等への不安

- ・大手で問題があったので使用するのが心配。
- ・国が中心となり製薬会社全般を管理指導してほしい。
- ・安全性や効果が変わらないデータを広く伝えてほしい。
- ・添加物等、必ずしも同じでないものがある点が不安。
- ・国の定める試験検査や基準値は科学的根拠ではなく、医薬業界の都合で決めているのではないか。
- ・外国のコピー品のように認識している人も周囲にいる。
- ・供給不安定に対し、生産供給体制の強化が必要ではないか。

### お薬代や医療費について

- ・効果が同じであれば健康保険の料金がかさむ時代なので、推進した方がよい。
- ・個人にも国に対しても負担が少なく、もっと知らせるべき。
- ・社会貢献になるということを知ったら、もっと気分良くジェネリックを希望できる。
- ・後発医薬品が安くない時もあることの記載を見たことがないが、実際には体験したことがある。
- ・値段の差をハッキリ知りたい。

### 積極的な活用

- ・医療従事者に対し、積極使用を推進した方が良いのではないか。
- ・薬局や病院で、医師や薬剤師からも患者にジェネリックを積極的に勧めてほしい。
- ・生活保護等で医療費無料となっている場合は、なるべくジェネリック医薬品を活用してほしい。
- ・意思表示が無い限りデフォルトでジェネリックが選択される制度設計に変更すべき。
- ・薬局で効果の差異（有無も含め）等説明があると、判断しやすい。

### バイオシミラーについて

- ・聞いたことがなかった。知らなかった。初めてきいた。
- ・きちんと検査をしているなど、もっと知らせて欲しい。
- ・使用する機会がないと知識が得られない。
- ・バイオシミラーのそもそもの知識をどこで得るかにも不安がある。
- ・バイオ医薬品を服用しているが、高価なので、早くバイオシミラーが出ると経済的に楽になると思う。
- ・構造が複雑なだけに、少しの違いでも不安を感じる。

など 281 件のご意見がありました。

### 3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・後発医薬品のことを知らなかった方は回答者 700 名の内 6 名でかなり少ない割合となっており広く認知されているため、後発医薬品のことを知った上で、使い続けられるような啓発が必要である。具体的には、価格が安い以外の後発医薬品の利点（国民医療費の削減、先発医薬品とは異なる剤形の開発等）を伝えること、効能効果、品質が同等である点をより重点的に啓発を行う。先発医薬品との添加物等の違いに対し不安を感じている場合や、先発医薬品メーカーへの投資という面で先発医薬品を選択している場合もあるため、品目によっては、先発医薬品メーカーから許諾を受けて製造されたオーソライズドジェネリックという選択肢があることも周知していく。
- ・先発医薬品を希望する方の内、過半数は後発医薬品の品質に不安があることを理由として挙げている。また、自由意見において、供給に影響が生じている点への不安や現場での苦労について十数件意見が寄せられている。現状、厚生労働省において、安定供給等の実現に向けた産業構造のあり方に関する検討が重ねられているところであるため、方針が固まり次第、最新の情報を発信していく。
- ・ほとんどの県民がバイオシミラーを認知しておらず、バイオ医薬品を使用している場合であっても約 4 割で認知されていなかった。バイオ医薬品を使用した治療を行う場合、患者の費用面での負担も大きいため、必要な時に自己の診療に関連する有益な情報を拾えるよう、積極的な発信を行っていく。
- ・今後の施策を検討する後発医薬品使用促進検討会議等の参考資料として本アンケートを活用し、より効果的な啓発活動について検討する。

## 4 調査の概要

### (1) 調査形態

調査時期：令和5年10月16日（月）～令和5年10月29日（日）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：995名（県内在住者のみ）

回収率：70.4%（700名）

回答者の属性：以下の通り。

		人数（人）	割合（%）
全体（n）		700	100.0
地域別	県北	64	9.1
	県央	254	36.3
	鹿行	41	5.9
	県南	279	39.9
	県西	62	8.9
性別	男性	316	45.1
	女性	384	54.9
年齢別	16～19歳	6	0.9
	20～29歳	33	4.7
	30～39歳	95	13.6
	40～49歳	190	27.1
	50～59歳	188	26.9
	60～69歳	115	16.4
	70歳以上	73	10.4
職業別	自営業	51	7.3
	会社員	256	36.6
	団体職員	35	5.0
	公務員	29	4.1
	主婦・主夫	160	22.9
	学生	15	2.1
	無職	82	11.7
	その他	72	10.3

### (2) 担当課

茨城県保健医療部医療局薬務課（薬事グループ）

電話：029-301-3393 E-mail：yakumu2@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。